

中之口地区

第43号

コミ協だより

■発行 / 中之口地区コミュニティ協議会

■発行日 / 2022. 3. 31

第四十二回 中之口地区 元旦マラソン大会



令和四年元旦に第四十二回中之口地区元旦マラソン大会を開催いたしました。今年は一週二・〇kmのコースと、そこを二周する四・〇kmの二コースで実施しました。

昨年よりたくさんの方が、スタート時間午前九時の号砲を合図に老若男女入り乱れて健脚を競いました。

当日は氷点下で路面が凍結し、コースは大変危険な状態でしたが、市の職員の取り計らいで融雪剤を散布していただき、スタートでは転倒もなく無事に走り抜けること

ができました。

コロナ対策ということで、受付は箱の中に参加用紙を入れ、完走後は当選者も選外の人も滞ることなくスムーズに参加賞を受け取り自由解散となりました。

寒い中、新潟市中之口地区スポーツ振興会をはじめご協力いただいたスタッフの皆様、誠にありがとうございました。

(教育文化部会)



新一年生に防犯ブザーを贈呈

年度計画で、中之口地区コミュニティ協議会から子どもたちの安全を守るため、令和四年度に新一年生になられる東・西小学校の児童の皆さんへ、入学のお祝いに防犯ブザーを贈呈することになっていました。

新型コロナウイルス感染拡大により、新一年生の皆さんに直接お会いできませんが、二月一日に防犯防災部会長が西小学校へ出向き、平田校長先生に防犯ブザーを手渡しました。今後、子どもたちが不審者から身を守るためにという思いを込めて贈呈いたしました。



(防犯防災部会)

子どもたちが、防犯ブザーを使うことが無いよう祈っておりますが、万が一の時に役立てていただきたいと思えます。また、地域の皆様には今後とも子どもたちの安心・安全を守るため、日頃より目配り、気配りを併せてお願いいたします。

第39回 新春書き初め大会

令和四年一月八日(土)、第三十九回新春書き初め大会を中之口体育館で開催いたしました。

コロナ対策で事前申し込みされた小中学生と一般の方々で九十五名の参加がありました。

寒い中でしたが、参加者は緊張感をもって課題に取り組んでいました。

この事業を通して書道愛好会の皆さんから書道の心構えや筆の運



び方等を学び、また、日本語の文字の美しさに理解を深める機会となっております。

当日書き上げた作品は、中之口先人館に展示され、家族や市民の皆さんからもご覧いただきました。

コロナ感染に注意しながら、書道愛好会、公民館をはじめご協力いただきましたスタッフの皆様、誠にありがとうございました。

(教育文化部会)

中之口拡大コミュニティ・スクール説明会

令和三年十二月十六日(木)に、中之口地区コミュニティ協議会、青少年育成協議会、民生委員児童委員、自治会長、中之口地区各施設(公民館、先人館、澤将監の館、学校給食センター)、中之口地区社会福祉協議会、駐在所、各校PTA役員等の代表の皆様をお招きし、説明会が中之口中学校を会場に行われました。

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんが共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ、協働して地域の子どもの豊かな成長を支えていく仕組みです。地域に開かれ、地域に支えられた、信頼される学校づくりを進めようとするものです。そして、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させながら、学校・保護者・地域の三者で子どもたちの成長に必要なことを考え、それに基づいた活動を行っていきます。

説明会では、令和四年度から始まるコミュニティ・スクールの活動について、その趣旨や活動予定



の説明を行いました。参集いただいた代表の方々には、令和四年度の学校運営協議会委員にご就任いただき、新しく始まる制度をスムーズに踏み出せるようご支援いただきましたと思います。よろしくお願いたします。

(中之口地区教職員協議会)



地域福祉活動計画 実施に向けた検討会開催

令和三年十二月七日、中之口地区コミュニティセンターにおいて、「第三期地域福祉計画実施に向けた検討会」が開催されました。「中之口地区の現状と課題」を取り組まれていることと

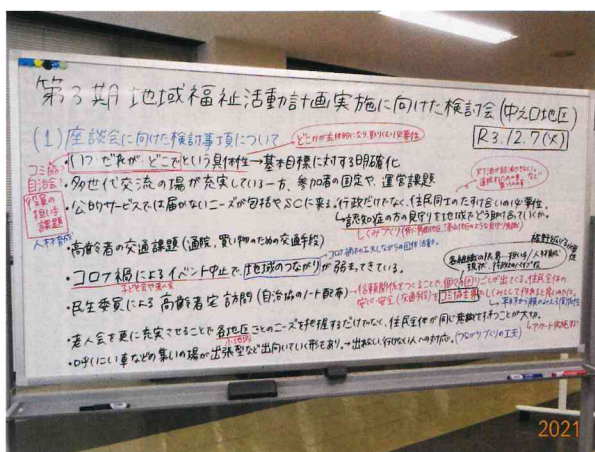
地域の課題

- ① 地域の茶の間・サロンの活動が充実しているがメンバーが固定化してきている。
 - ② 地域の茶の間や老人会活動・健康教室・地域行事が健康寿命延伸に役立っているが、活動は減少してきている。
 - ③ 自治会や学校、民生委員・児童委員などによる見守り、声かけ活動が定着しているが、人材育成が難しい。
- この地域が目指す姿は、
- ・「みんなで考えつながりお互いさまで助けあう地域」
- そのための取り組みは、
- ・「声かけで安心して暮らせる地域づくり」と「地域を支える人材育成」
- です。

認知症、高齢者の移動手段、ボ

ランテニアなどの人材不足、各組織の弱体化、困りごとの相談場所、福祉活動の拠点づくりなど今現在の問題を把握して、具体的な対策を講じ、暮らしやすい地域にすることが検討されました。

(中之口地区社会福祉協議会)



偉人をおして 日常生活に活気を

中之口地区公民館では令和三年度の主催事業として、中之口地区不世出の偉人である横綱羽黒山と東映初代社長の大川博氏（共に羽黒出身）にスポットをあて、お二人の素晴らしい功績や足跡を学ぶ「長寿大学 中之口の偉人をおして映画と大相撲を楽しむ」を三回シリーズで開催しました。

この講座は、現在コロナ禍でストレスを抱えがちな日常生活の中、その二人の偉人が活躍された「大相撲」と「映画」の分野をより楽しむための知識や情報を知り、心の豊かさを広げていただきたいという思いで実施しました。

特に十二月二日に行った二回目の講座「没後五十年、東映初代社長大川博氏記念講演会」では、思い掛けなく良いことがありました。それは、大川氏のお孫さんの大川裕さんが、わざわざ横浜市からお越し下さり、当日の講演後登壇され、短い時間でしたが大川博氏の思い出話などを語っていただけました。

二回目の講師、新潟市民映画シ



ネウインド代表の齋藤正行さんは記念講演会が終わった後、「地元の人が自分で（郷土の偉人を）研究し、言い伝えができるようになるといいんだけど」と、要望をおっしゃっていました。そこまできなくとも今後郷土の偉人に少しでも興味や関心をもってもらい、地域住民の方々の講座等への参加や様々な行動の波紋が広がるように願っています。

(中之口地区公民館)

中之口地区 年間無火災を達成

令和三年は、年間を通して中之口地域で火災発生がありませんでした。これを受け、西蒲消防署長から地域を代表して、当コミ協に感謝状が授与されました。

この制度は、地域における防火思想及び火災予防活動の普及・啓発を目的に、平成二十五年一月から始まったもので、中之口地域は今回が初めての受賞です。

本来であれば、出初式の式典で授与が予定されていましたが、コロナ感染拡大で出初式が縮小されたことから、一月二十七日中之口地区コミュニティセンターで、当コミ協渡邊会長に授与されました。これを契機に、火災を含めた地域の防犯・防災力を高め、安心して暮らせる地域創りを目指しましょう。

(防犯防災部会)



令和四年度 中之口地区の自治会長紹介

平成四年度の中之口地区の各自治会長が決まりましたので紹介いたします。

今年度は、全二十七自治会中、十三の自治会で自治会長さんが交代されました。

自治会長さんは地域のまとめ役として、また円滑なコミ協活動を進めて行く上でも必要不可欠な皆さんです。

また、昨年からは自治会長の皆さんのお力を更にコミ協にもお借りすべく、自治会長会を発足させたところであり、何かとお世話になることと思いますが、よろしく

自治会名	会長名	自治会名	会長名
潟浦新	☆伊藤賢二	福島	☆平松勝廣
長場	渡辺正登	河間	長沼稔
高野宮上	☆斉藤功	三ツ門	吉原泰蔵
高野宮中組	☆小柳正延	道上居島	牧正史
高野宮下	☆赤塚福太郎	道上観音	宇佐美武夫
高野宮西組	堀義明	道上中組	熊谷和秀
六分	☆山田正栄	道上糸郷屋	田中正夫
東門田	大橋直家	打越第一	☆小林修
針ヶ曾根	金井一十四	打越第2	☆平岡茂
西門田	☆白野義信	打越第3	澤僚一
東船越	大矢哲	打越第4	田中清
真木	☆宮本与志栄	打越第5	栃倉忠
姥島	☆野崎義孝	牧ヶ島	☆山岸登一郎
羽黒	☆小林利治	☆：新しく就任された自治会長	

お願いいたします。

今現在、コロナ禍でなかなか動きが取れない状況ですが、中之口地区では、高齢化問題・少子化問題、そこから派生する様々な問題を抱えています。

これらをクリアして、住みよい中之口地域実現に向けた協議を、自治会長の皆さんと一緒に進めるためにも、一日も早いコロナの終息を願うものです。

(自治会長会)

編集後記

コロナという言葉が世間を賑わして早二年が経過しました。そして現在もその終息の目途が立っていません。

このようなコロナ禍で、この一年コミ協活動も諸々の制限を受けたことから、「コミ協だより」も紙面を埋めるために四苦八苦の一年でした。そのようななか、執筆にご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。

次年度からは、編集メンバーを一新し、紙面創りを進めますのでご期待ください。

(総務広報部会)